

ワンストップ支援のための情報プラットフォームづくり ～連携支援の手引き作成のための合宿セミナーについて(お知らせ)～

一般社団法人日本うつ病センター(JDC)では、今年度の主要事業の一つとして、厚生労働省の平成28年度自殺防止対策事業費等補助金(自殺防止対策事業費)の交付を受け、「ワンストップ支援のための情報プラットフォームづくり」事業に取り組んでおります。

本事業の第一の目的は、自殺ハイリスク者を含めた様々な困難を抱え援助を必要としている人々に対して、援助者が自らの専門外の分野も含めて適切かつ包括的な援助の提供が出来るよう、情報のプラットフォームをつくることであり、その実現のために、関係者が自らの専門外の分野に関しても適切な初期対応と専門機関との効果的連携を実践するために必要な基本的な知識や情報を提供する援助者向けの手引書『ハイリスク者支援のための連携支援の手引き(仮称)』を作成することを主たる事業としています。

手引き作成の方法としては、各分野の援助者を招集した1泊2日の合宿セミナーを開催し、それぞれが自らの専門分野に関して、それらを専門としない関係者が知っておくべき援助における留意点や専門機関との連携のコツ等を報告するとともに、その報告を元に、各分野について参加者全員で討議を行い、手引きに記載する事項を整理していくという方法を採用しました。

つきましては、連携支援の手引き作成のための合宿セミナーを下記のとおり開催いたしますが、同セミナーは公開とし傍聴可能でありますので、関心のある方にふるってご参加いただきたく、お知らせいたします。

なお、会場の都合により、定員は50名(先着順)とさせていただきますので、参加を希望される方は、2016年11月30日(水)までにEメールにてお申し込みください。

記

1. 日 時：2016年12月5日(月)10:00から12月6日(火)16:30まで
2. 場 所：ホテルKSP(川崎市高津区坂戸3-2-1)
3. 内 容：下記「連携支援の手引き作成のための合宿セミナープログラム(案)」参照
4. 定 員：50名(先着順。1日単位以上の参加をお願いいたします)
5. 申込方法：Eメール(1stop.jdc@gmail.com)
※①氏名、②所属、③連絡先、④参加希望日時(例：5日)をお知らせください。
6. 申込〆切：2016年11月30日(水)

連携支援の手引き作成のための合宿セミナープログラム(案)

12/5(月)

10:00-10:10 オリエンテーション
10:10-10:50 報告① *児童虐待／DV被害 大塚俊弘(国立精神・神経医療研究センター)
10:50-11:30 報告② *地域包括ケア・地域ネットワークづくり 竹島 正(川崎市精神保健福祉センター)
11:30-12:10 報告③-1 *生活困窮者(路上生活・住所不定／単身高齢者／性的マイノリティー／触法・被疑者) 的場由木(自立支援センターふるさとの会)
12:10-13:00 昼食・昼休み
13:00-13:40 報告④ *多重債務・経済問題／家庭内法の問題 草野哲也、清水隆次(日本司法書士会連合会)
13:40-14:20 報告⑤ *対策・体制の評価 南島和久(新潟大学法学部)
14:20-15:20 報告⑥ *アルコール薬物乱用・依存症 今成知美(アルコール薬物問題全国市民協会) 嶋根卓也(国立精神・神経医療研究センター)
休憩 10分
15:30-16:10 報告⑦ *自殺未遂 山田素朋子(相模原市精神保健福祉課)
16:10-16:50 報告⑧ *自殺のリスクに関する科学的根拠 稲垣正俊(岡山大学精神神経科)
休憩 10分
17:00-18:20 報告⑨ *自殺へ至る心理的課程／精神疾患 大山博史(青森県立保健大学) 張 賢徳(帝京大学医学部付属溝口病院)
18:20-19:00 総括討論
19:00-20:30 意見交換会

12/6(火)

9:00-10:20 報告⑩ *地域での実践 袴田俊英(心といのちを考える会) 藤藪庸一(白浜レスキューネットワーク)
休憩 10分
10:30-11:10 報告⑪ *宗教の役割 小川有閑(大正大学地域構想研究所／蓮宝寺)
11:10-11:50 報告⑫ *自死遺族支援 田中幸子(全国自死遺族連絡会)
11:50-12:30 報告⑬ *過労／いじめ 細川 潔(自死遺族等権利保護研究会)
12:30-13:20 昼食・昼休み
13:20-14:00 報告⑭ *産業保健の役割 山内貴史(労働安全衛生総合研究所)
14:00-14:40 報告⑮ *地域保健行政の役割 宇田英典(全国保健所長会)
14:40-15:20 報告③-2 *生活困窮者(路上生活・住所不定／単身高齢者／性的マイノリティー／触法・被疑者) 奥田知志(生活困窮者自立支援全国ネットワーク)
休憩 10分
15:30-16:20 総括討論
16:20-16:30 クロージング

※それぞれの報告は20分の発表と出席者全員による討議で構成されます。出席者の都合等により、報告者の順番が若干変更となることがあります。

全日程を通じて出席される助言者・サポーター(五十音順)
岡部 健(川崎市井田障害者センター)
笈 智子(上智大学)
川野健治(立命館大学総合心理学部)
岸 泰宏(日本医科大学武蔵小杉病院)
木下 浩(兵庫県司法書士会)
齋藤友紀雄(日本自殺予防学会)